

1Day データサイエンス セミナー

日 時

令和3年9月2日(木)

13:30~16:20

場 所

Zoomによるオンライン開催

定 員

100名(先着)

申込方法

下記WEBサイトからお申込下さい

<https://ads.i.kyushu-u.ac.jp/archives/2517>



【お問合せ】

九州大学ADS育成室

ads-office@inf.kyushu-u.ac.jp

九州ADS育成コンソーシアムでは、最先端の理論と実践力を身につけた高度データサイエンティスト育成の促進を図っています。

本セミナーでは、データを活用した研究・教育・実務の最前線で活躍されている講師陣より、データサイエンスの現状と未来についてご講演いただきます。

プログラム

13:30 ~ 13:40

開会のご挨拶

「教学(きょうがく)データ×データサイエンス」

講師：島田 敬士 氏（九州大学大学院システム情報科学研究院・教授）

13:40 ~ 14:40

近年、教育分野へのICT環境が普及し、LMSやデジタル教材などを使った教育・学習が行われている。それに伴い、各種教育システムには様々な教育・学習の過程や成果に関するデータ、すなわち教学データが蓄積されるようになりつつあり、今後はそれら教学データを利活用し、データ駆動で教育・学習の改善を行うことが期待されている。本講演では、九州大学における教学データの蓄積基盤や教学データに基づく教育・学習の過程や成果の分析事例を概説するとともに、教育・学習の改善のためのフィードバックシステムについても紹介する。

14:40 ~ 15:00

休憩

「農業における害虫・害獣対策のための情報技術の現状と課題」

講師：堀部 典子 氏（崇城大学情報学部情報学科・教授／株式会社Germination Software・代表取締役）

15:00 ~ 16:00

2010年から農作物栽培の改善につながる情報技術の開発を目的とし、農地環境のデータ収集・蓄積、環境特性の特徴、オゾンや木酢液による農作物の栽培促進効果の検証などに関する研究を行ってきた。近年では、熊本県が主催する中山間農業モデル地区支援事業に参加し、熊本県八代市阪本町の鶴喰地区の農家との協力関係の中で、実際に発生したウンカの早期発見、対策、発生予測、イノシシなどの害獣への効果的な対策などについて、カメラやセンサによるデータ収集・分析を行い、減農薬栽培のための効果的な農薬管理を行うデータベースの開発や害獣マップの作成などに関する研究を行っている。本講演では、これらのプロジェクトや研究の中で実際に得られたデータや取り組み方法についての課題を紹介し、農場で生み出されるデータがデータサイエンス教育にどのように活用できるのか、その可能性について考察する。

16:10 ~ 16:20

閉会のご挨拶